



## 山形県木材産業協同組合

〒990-2473 山形市松栄 1-5-41  
TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699  
URL:https://www.mokusankyo.jp  
E-mail:yamawood@mokusankyo.com

### 目次

1. 地域材利用拡大研修会を開催
2. 地域材を活用した木材利用セミナー開催
3. 資源循環利用促進協議会新春研修会開催
4. モクコレ2023に参加
5. 林野庁関連情報
6. 3月以降の行事



## I 地域材利用拡大研修会を開催しました。(1/12)

### 【県産高品質材の地域での利用拡大を目指して】

1月12日(木)に、山形市内(山形国際ホテル)にて、地域材利用拡大研修会を開催しました。今回の研修会は、【木産協】が主体となり、県JAS製材連絡協議会、県プレカット協会、県広葉樹利用拡大協議会及び木産協の役員の皆様など約30名の参加を得て開催いたしました。

今回の研修では、全国木材組合連合会の常務理事【田口譲氏】を講師にお迎えし、「県産JAS材の利用拡大を図る上での地域の課題と今後の展望」と題して基調講演を頂いた上で参加者との意見交換等が行われました。

今後の木材利用の大きな流れを踏まえて、地域材に求められる性能や、地域材の利用拡大に繋がる様々な取り組みを、国・県・団体が連携して推進する必要性など有意義な情報提供をいただきました。(当日の配布資料等はHP等にアップする予定としています)

### 【基調講演の骨子】

#### ●木材利用の大きな流れ

(都市部の中大規模木造建築の推進、地方の非住宅の木造化がカギ)  
(一般住宅の省エネ化：建築確認手続きの見直し：2025～「構造・省エネ関連図書提出」)

#### ●これからの木材利用で大切なこと

(品質性能の証明(JAS材など)と安定供給とプラスαの価値化(耐火、耐久、耐震、環境価値、地産地消と再生林の担保)など)

#### ●補助事業をうまく使うコツ

(木造建築のトップランナーになってもらうため施工者の理解協力を得るための支援)

#### ●行政をうまく活用して上手にPRするコツ

(国や都道府県の広報を活用(例えば建築物木材利用促進協定など))  
(団体や補助事業など普及事業を活用(例えば、木材利用優良施設コンクールなど))



協議会長挨拶



全木連：田口常務

## 2 地域材を活用した木材利用セミナーを開催しました。

【地域材の利用を拡大しウッド・チェンジを進めるためセミナーを開催】(1/16,20)

●主催 山形県木材産業協同組合、やまがた県産木材利用センター、村山地域林業振興協議会

●【第1回セミナー】1月16日(月)に、第1回セミナーが山形市(パレスグランデール)で開催されました。第1部として【林材ライター】の赤堀楠雄氏による「ウッド・ショック後の地域材利用の課題と今後の展望」と題した基調講演が行われました。引き続き第2部として【国産材への転換を進める新たな地材地建を考える】をテーマに、金山町森林組合の狩谷常務を進行役に、赤堀氏と県森林ノミクス大使の瀬野氏の3名による「地域材利用鼎談」が行われました。

【キーワード】：必要なのは安定供給でなく安定需要。精度の高い情報を3ヶ月前に把握できる仕組みで地域材のユーザーを増やす取り組みが必須

●【第2回セミナー】1月20日(金)に、第2回セミナーが山形国際ホテルで開催されました。第1部として【株式会社モリアゲ】の代表長野麻子氏による「山形の森をモリアゲよう」と題した基調講演が行われました。引き続き第2部として【木があふれるやまがたの街づくりを目指して】をテーマに、長野氏がモデレーターとなって県内関係団体をゲストに迎えたトークセッションが行われました。

【キーワード】：「残りの人生を森をモリアゲるために使いたい」という想いで2022年8月に(株)「モリアゲ」を起業。木を失った社会の中で「森を想う人口を7割にし、木を取り戻す社会(木がつく人たち)の実現を皆さんと一緒に目指したい」



【詳しくは木産協のHPにセミナー動画をアップしますので、是非ご覧ください】(第2回セミナーは配信中)

## 3 令和4年度新春研修会を開催しました。(1/24)

1月24日(火)に、**県森林資源循環利用促進協議会**が主催して、山形市内(山形グランドホテル)で【新春研修会】を開催しました。

今回の研修会では、県森林ノミクス推進課より、笠井森林経営・再造林推進主幹並びに、志藤課長補佐を講師にお迎えし、「**森林整備の推進に向けて**」と題して事業説明をしていただいた後に、会員との意見交換等が行われました。

今回は、森林環境譲与税など森林整備に必要な最新情報の提供をいただき、今後の事業展開において大変参考となる貴重な内容となりました。当日は、協和木材(株)新庄工場、(株)城南木材市場、県林防災、(株)パスコなど関連する企業・団体の参加も得て情報交換を行うこともできました。





## 4 「WOODコレクション2023 (モクコレ)」に参加しました。(1/31~2/1)

東京都は、1月31日と2月1日に江東区の東京ビッグサイトで7回目となる**国産材商談展示会「WOOD コレクション2023 (モクコレ)」**を開催し、38都道府県から246企業・団体が出展しました。新型コロナウイルス感染症の影響で、3年ぶりにリアル(対面方式)での実施となり、一般消費者向けの展示や企画が大幅に充実したところです。木産協からも【**県広葉樹利用拡大協議会**】が中心となって、彩豊かな広葉樹に囲まれた「**木の国やまがたの魅力展**」と題してブースを出展し、県産広葉樹製品等をPRしました。



## 5 林野庁関連情報(木材関係)

### 【「建築物の木造化・木質化支援事業コンシェルジュ」】

【林野庁 HP より】建築物における木材利用について、より一層の促進を図るため、国や国の関係機関が実施している建築物の木造化・木質化に活用可能な補助事業・制度を一元的に案内する窓口です。

各省庁等にも照会の上、林野庁が取りまとめた「**建築物の木造化・木質化に活用可能な補助事業・制度等一覧**」等に沿って、御案内させていただきますので、お気軽に御相談ください。(受付時間：平日9:30~18:15)

木材利用促進本部事務局(林野庁木材利用課) 03-6744-2626

●建築物の木造化・木質化支援事業コンシェルジュ：問い合わせフォームから問い合わせ可能

## 6 3月以降の行事

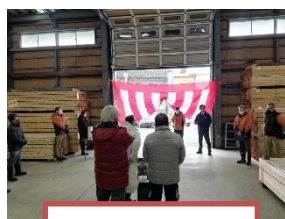
日程	行事名	予定出席者
3月下旬	木産協 三役会 (山形市内)【予定】	理事長、副理事長他
3月下旬	木産協「県地域材利用拡大連携協議会」(山形市内)【予定】	理事長、副理事長他
4.24(予)	木産協 理事会(調整中)	理事長、副理事長他

※木産協・利用セの理事会・総会の日程は、各役員会の了承を得しだいお知らせします。

※(お知らせ) 株式会社山形城南木材市場、山形中央木材市場の【初市】が盛大に開催されました。

(1/10:城南 1/19:中央)

=今年もよろしくお祈りします。=



城南木材市場



中央木材市場

※(お知らせ)

※R5年度県住宅支援制度説明会

2月27日置賜総合支庁

2月28日庄内総合支庁 申込先：県建築住宅課 企画担当 023-630-2433

※山形県中小企業団体中央会からのお知らせ

令和4年度2次補正予算「中小企業生産性革命推進事業」の概要

1. ものづくり・商業・サービス補助金(設備投資補助)
2. 持続化補助金(販路開拓等補助)

※ 詳細につきましては、中小機構・生産性革命推進事業ポータルサイト

<https://seisansei.smrj.go.jp/>

●全国木材協同組合連合会からのお知らせ

令和3年度補正予算林野庁補助事業

# 外構部の木質化対策支援事業 企画提案型実証事業 成果報告会

「会場報告会」「WEB 報告会」のご案内



外構部の木質化対策支援事業は、これまで木材利用が低値であった施設等の外構部の木質化により、木製外構の認知度の向上や木製外構に関連する知識の普及並びに情報の収集等の取組を支援することにより木材の新たな需要を創出することを目的とするものです。

この事業の一環として、全国木材協同組合連合会と公益財団法人日本住宅・木材技術センターは木製外構施設を整備することにより、外構部における木材の新たな利用方法の企画および性能の確認、利用者や社会に及ぼす効果等の把握など先進的な取組の効果を実証する事業(企画提案型実証事業)の支援を行ってまいりました。

その成果を広く周知するため成果報告会を開催します。

この報告会は、会場での参加に加え、報告会の映像をライブ配信します。

日時 令和5年 **3月2日(木)** 13:30~16:00

■ 会 場： 木材会館 7F 大ホール

参加費  
無料

プログラム(予定)	
13:00	開場
13:30~13:35	主催者挨拶
13:35~13:40	来賓挨拶
企画提案型実証事業 成果報告	
13:40~15:35	成果報告 *報告内容は裏面参照、途中休憩あり
講演	
15:35~16:00	『ウッドデッキのある魅力的な公共の屋外空間 —安全・安心で長持ちさせるための維持管理—』冊子解説 樋口祥一氏 株式会社現代計画研究所 主任研究員
16:00	閉会

■参加申込

●以下の URL・QR コードからお申込みください。

<https://www.koushuukai.com/howtec/230302/>





## ●全木連からのお知らせ (人工乾燥技術資料)



建築用木材に係る技術開発・普及事業の成果をウェブサイトにて公開

- 一般社団法人 全国木材組合連合会は、国産材の需要拡大を目的とし、これまで林野庁補助事業として取り組んだ建築物における木材利用の促進に不可欠な、木材の乾燥技術等に係る技術開発普及事業の成果報告をウェブサイトにて公開いたしました。

URL: <https://www.zenmoku.jp/driedwood/>

### ■公開した技術資料

#### 【人工乾燥材】

- **令和4年度** 【品質性能を確保した乾燥材の供給に向けた技術資料の作成及び普及】  
プレカット会社および住宅供給会社に対し、人工乾燥材に求められる品質について、アンケート調査、これまでの調査結果をふまえ、技術資料「**品質の確かな人工乾燥材の生産において**」を作成し公表

#### 【これまでの資料】

- **令和元年度** 【人工乾燥条件及び強度性能の関係に係る実態調査】  
一般に流通している人工乾燥材の乾燥条件と強度性能との関係に係る実態調査
- **令和2年度** 【人工乾燥材の強度等品質を確保するための適正乾燥条件の検討】  
現場で採用されている乾燥スケジュールで乾燥した製材と、強度・品質の面から推奨されている乾燥スケジュールで乾燥した製材との強度性能を比較
- **令和3年度** 【構造用製材の含水率及び接合仕様の検討】  
スギ、ヒノキおよびカラマツの芯持ち材の割れが少なく強度低下のない適正乾燥条件の検討。仕上がり含水率のばらつきを少なくするための選別方法や木ロシールによる材端部の割れの抑制等

●日本木材総合情報センターからのお知らせ

視聴のご案内

# 令和4年度 マーケットインによる 安定供給体制強化促進事業 成果報告会

■日時■ 令和5年3月2日(木) 13:10~17:00

■視聴■ ウェブ (Zoomウェビナー)

13:10~ 13:20	【主催者挨拶】 一般財団法人日本木材総合情報センター 【林野庁挨拶】 林野庁林政部木材産業課
13:20~ 14:40	【基調講演】 「第3次ウッドショックが与えた 国産材への影響と今後の見通し」 特定非営利活動法人活木活木森ネットワーク 理事長 遠藤 日雄
14:45~ 16:45	【成果報告】(報告順は未定) 株式会社仙台木材市場 岐阜県木材協同組合連合会 鳥取県森林組合連合会 一般社団法人高知県木材協会 茨城県産材普及促進協議会 株式会社鈴三材木店 徳島県木材協同組合連合会 佐伯広域森林組合

※現時点での予定になります。

視聴のご案内【登録無料】

★3/1申込〆切★

以下のURLより視聴申込できます。

<https://www.jawic.or.jp/apply/k230302/>

※スマホからも登録できます→



◆中止等は日本木材総合情報センターホームページにて  
公表いたします <https://www.jawic.or.jp/>

◆問い合わせ先

一般財団法人 日本木材総合情報センター

永井・大屋 敷 (☎03-3816-5595 ☒ohyashiki@jawic.or.jp)

## トピック これからの木材産業の転換点となる制度改正について

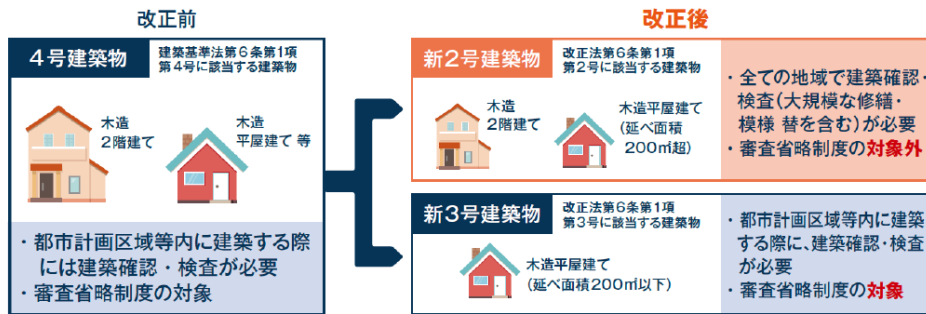
(引き続き情報提供いたします)

### 【国土交通省からのお知らせ】 = 【2025年4月】から【4号特例】の見直し

- 「省エネ基準の適合義務化」に併せて、木造戸建住宅を建築する場合の建築確認手続きが見直されます。

- ① 「建築確認・検査」の審査省略制度の対象範囲が変わります。
- ② 確認申請の際、(200m<sup>2</sup>超・木造2階建)は構造・省エネ関係図書の提出が必要です。
- ③ 2025年4月に施行予定です(申請に必要な図書と明示事項は令和5年秋に施行)

### 1 「建築確認・検査」「審査省略制度」の対象範囲が変わります

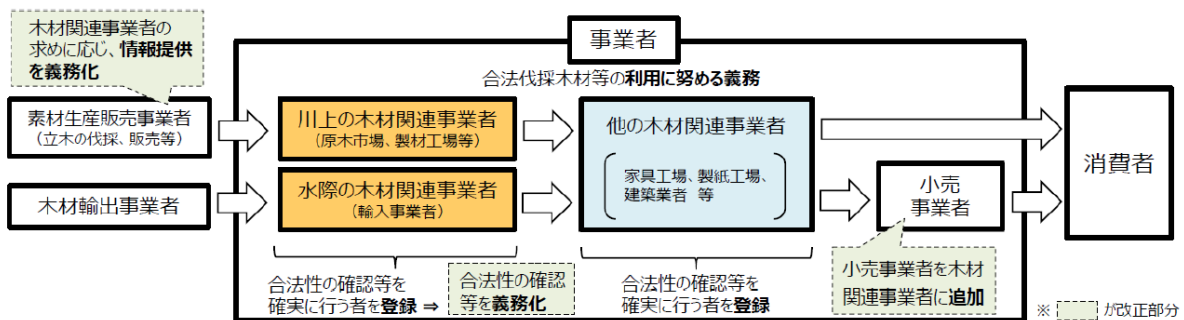


**改正点(ポイント):** 必要な図書の明示は令和5年度であるが、構造関係規定等図書の提出が義務付け(JAS認証材との関連で注視)

### 【林野庁からのお知らせ】 = 【合法木材等の流通及び利用の促進に関する法律の改正】

- 川上・水際の木材関連事業者(原木市場、製材工場等)に対し、素材生産販売事業者又は外国の木材輸出事業者から木材等の譲受け等をする場合に、

- (1) 川上・水際の木材関連事業者による合法性の確認等の義務付け
  - ① 原材料情報の収集、合法性の確認、② 記録の作成・保存、③ 情報の伝達を義務付け
- (2) 素材生産販売事業者による情報提供(伐採届等)の義務付け など



**改正点(ポイント):** 現在は任意の登録制度であるが、(原木市場、製材工場、合単板工場等)に合法性確認を義務付け(2025年に義務化に関する規定制定)



### ●住宅着工状況 (12月期)

令和4年12月期の県内新設住宅着工戸数は403戸となり、対前月比95.5%、対前年同月比106.6%、対前年累計比は87.3%となった。県内では貸家、持家ともに減少傾向。地区別の前年比は村山減少その他の地区は増加、累計比は全地区で減少となった。木造率は73.2%。

#### 1 県内新設住宅着工戸数(令和4年12月)

(単位:戸)

年月	総数	利用関係別				資金別		木造住宅		木造内訳		
		持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	民間	その他	戸数	木造率	在来軸組	プレハブ	2×4
22年	4,125	2,533	1,140	40	412	3,777	348	3,319	80.5%	2,479	112	728
23年	4,336	3,001	1,100	8	227	3,903	333	3,615	83.4%	2,778	121	716
24年	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
25年	5,323	3,543	1,372	21	387	5,136	187	4,515	84.8%	3,453	152	910
26年	4,550	2,529	1,505	83	437	4,335	215	3,797	83.4%	2,752	106	939
27年	5,403	3,076	1,721	15	591	5,338	65	4,575	84.7%	3,138	130	1,307
28年	5,675	3,046	1,930	16	683	5,592	83	4,875	85.9%	3,370	109	1,396
29年	5,516	2,976	1,837	50	653	5,473	43	4,661	84.5%	3,366	98	1,197
30年	6,362	3,160	2,322	25	855	6,039	323	5,015	78.8%	3,367	128	1,520
31年(元年)	5,755	2,776	1,907	27	1,045	5,686	69	4,697	81.6%	3,358	110	1,229
2年	5,005	2,939	1,338	7	721	4,935	70	4,480	89.5%	3,259	87	1,134
R3.12月	378	215	94	0	69	373	5	349	92.3%	235	8	106
R3.1~12	5,187	2,952	1,444	20	771	5,026	161	4,313	83.2%	3,273	70	970
04.1月	310	139	105	0	66	307	3	260	83.9%	180	9	71
2月	432	143	204	1	84	429	3	295	68.3%	184	1	110
3月	219	151	21	2	45	214	5	206	94.1%	161	6	39
4月	314	231	35	1	47	305	9	300	95.5%	248	8	44
5月	390	246	107	0	37	369	21	329	84.4%	282	4	43
6月	445	257	122	2	64	438	7	377	84.7%	283	4	90
7月	414	208	151	5	50	410	4	348	84.1%	260	2	86
8月	502	241	207	0	54	501	1	416	82.9%	288	6	122
9月	356	226	97	0	33	352	4	323	90.7%	226	3	94
10月	319	186	84	0	49	313	6	284	89.0%	210	9	65
11月	422	205	130	42	45	418	4	294	69.7%	215	4	75
12月	403	183	102	1	117	399	4	295	73.2%	237	6	52
対前月比	95.5%	89.3%	78.5%	2.4%	260.0%	95.5%	100.0%	100.3%	-	110.2%	150.0%	69.3%
対前年同月比	106.6%	85.1%	108.5%	-	169.6%	107.0%	80.0%	84.5%	-	100.9%	75.0%	49.1%
03.1~当月計	5,187	2,952	1,444	20	771	5,026	161	4,313	83.2%	3,273	70	970
04.1~当月計	4,526	2,416	1,365	54	691	4,455	71	3,727	82.3%	2,774	62	891
対累計前年比	87.3%	81.8%	94.5%	270.0%	89.6%	88.6%	44.1%	86.4%	-	84.8%	88.6%	91.9%

#### 2 地域別新設住宅着工戸数(令和4年12月)

(単位:戸)

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
県計	403	4,526	106.6%	87.3%	3,727
山形市	84	1,456	62.2%	83.5%	1,040
上山市	16	120	59.3%	96.0%	107
天童市	18	255	85.7%	73.5%	240
山辺町	3	51	50.0%	87.9%	47
中山町	4	35	133.3%	134.6%	33
東南村山	125	1,917	65.1%	83.3%	1,467
寒河江市	13	131	65.0%	53.3%	124
河北町	6	44	-	86.3%	43
西川町	0	14	-	1400.0%	14
朝日町	1	9	100.0%	180.0%	9
大江町	2	12	-	100.0%	12
西村山	22	210	104.8%	66.7%	202
村山市	5	66	125.0%	106.5%	62
東根市	11	373	25.6%	106.3%	334
尾花沢市	0	21	0.0%	80.8%	21
大石田町	0	3	-	42.9%	2
北村山	16	463	33.3%	103.8%	419
村山地域	163	2,590	62.5%	84.6%	2,088
新庄市	14	127	280.0%	83.6%	125
金山町	0	2	-	50.0%	2
最上町	0	5	0.0%	62.5%	5
舟形町	0	3	-	33.3%	3
真室川町	0	5	0.0%	41.7%	5

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
大蔵村	0	2	-	200.0%	2
鮭川村	0	5	-	166.7%	5
戸沢村	0	6	-	30.0%	6
最上地域	14	155	200.0%	74.2%	153
米沢市	28	314	200.0%	108.3%	290
南陽市	5	96	55.6%	77.4%	92
高島町	22	61	440.0%	81.3%	60
川西町	1	35	100.0%	60.3%	31
東南置賜	56	506	193.1%	92.5%	473
長井市	8	102	66.7%	80.3%	100
小国町	0	72	-	205.7%	10
白鷹町	2	42	100.0%	113.5%	39
飯豊町	1	23	50.0%	109.5%	21
西置賜	11	239	68.8%	108.6%	170
置賜地域	67	745	148.9%	97.1%	643
鶴岡市	98	494	306.3%	77.4%	394
三川町	0	18	0.0%	69.2%	17
庄内町	3	42	50.0%	58.3%	42
田川	101	554	259.0%	75.3%	453
酒田市	56	455	233.3%	115.5%	364
遊佐町	2	27	100.0%	135.0%	26
飽海	58	482	223.1%	116.4%	390
庄内地域	159	1,036	244.6%	90.1%	843

注:累計は令和4年1月~